学校番号	1101

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	ホスピタリティー	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分の個性発見、不確実な時代のキャリア形成、自分を大切にするスキルなどの自分を思いやる力を育む。
・他者のいいところの発見、他者との違いを認め合い、SDGs などの他者を思いやる力を育む。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・ホスピタリティーの基本概念を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・他者の話を聞き、理解する力『傾聴力』を身に着ける。
・他者にものごとを伝えるための丁寧な言葉選び､非言語コミュニケーションなどを身に着ける。
【学びに向かう力、人間性等】
・個別ワーク、グループワーク、ゲーム、コミュニケーション、プレゼンテーション、実習などの参加型の体験を通して学びを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般教養的な科目を学習することにより、幅広い知識の修得をめざす。	・様々な状況や顧客の要求に対応するための柔軟性や創造力を養う。 ・他者と協力し、効果的なコミュニケーションや協調作業を行うことで、おもてなしの質を高める。	現代社会が強く求めている人間の価値観「ホスピタリティー」の本質を探り出し、自己の向上に役立て、組織や社会に貢献できる素質を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	コミュニケーションスキルの修得	人間関係スキルの修得と演習	a:清潔さ、礼儀正しさ、柔軟性などのおもてなしの重要な要素を理解している。 c:自己評価や他者からのフィードバックを受け入れ、自己成長につなげようとしている。	観察		観察
	問題解決技術の修得	チームでの役割分担や連携を通じた顧客対応のシミュレーション演習	a:サービス業での基本的なコミュニケーションスキルや接客マナーを修得している。 b:チームで協力し、効果的なコミュニケーションや協調作業を行うことで、おもてなしの質を向上させようとしている。 c:ロールプレイ活動を通じて、自己評価や他者からのフィードバックを受け入れ、自己成長につなげようとしている。	観察 レポート	観察 レポート	観察 レポート
後期	柔軟性と創造性の育成	様々な状況や環境に適応するための柔軟性についての学習とディスカッション	a:様々な状況や環境に応じた柔軟な対応力を身につけている。 b:様々な状況でのロールプレイ活動を行い、その時々の状況に応じた柔軟な対応が出来ている。 c:ロールプレイ活動を通じて、自己評価や他者からのフィードバックを受け入れ、自己成長につなげようとしている。	観察	観察	観察
	まとめ	学習内容や経験を振り返り、自己評価と成長計画の策定	b:チームで協力し、効果的なコミュニケーションや協調作業を行うことで、おもてなしの質を向上させようとしている。 c:自己評価を行い、自身の成長や改善すべき点を認識し、さらなる自己成長への目標を設定している。		観察 レポート	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度